

未来への挑戦

市議会3月定例会が2月26日から3月20日までの23日間の会期で開かれました。
初日に玉井市長が示した新年度の施政方針と具体的な施策の概要をお伝えします。

時代に応じた自治体経営

激動の「平成」も間もなく終わりを告げ、新たな時代が幕を明けようとしています。加速する人口減少に伴い、自治体間競争は、より一層激しさを増しています。新しい時代の幕明けにあたり、改めて地域主権時代を勝ち抜くため、時代の変化に即応した自治体経営を実現していかなければならないと決意を新たにしているところです。

新年度は、第2期西条市総合計画前期基本計画、西条市新市建設計画、ならびに西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略が現計画期間の最終年度を迎えます。2045年における本市の将来推計人口は7万8307人、高齢化率は42・76%となり、さらに厳しい見通しとなりました。この結果をしっかりと受け止め、本市が持続可能なまちづくりを進めていくために、市民の皆さんとさらなる議論を重ねていきたいと考えています。

走り続けた1年

私は、平成30年度を地域経済の底上げ、都市ブランドの底上げ、ひいては市民生活の底上げに取り組み「ONE UP」の年として位置付け、「ワクワク度日本一のまち西条」の実現へ、種々の施策に取り組んできました。「市民主役の西条」の実現に向けて

は、地域課題を解決するため大町・橘地区をモデル地区として地域自治組織の設立を進めてきました。「住みたい西条」の実現に向けては、健康都市を目指す第一歩として、わくわく健康ポイントを開始したほか、ICTを活用した高齢者の見守りシステムを試験的に導入しました。「市民と進める行財政改革」の実現に向けては、各種使用料の見直しや公共インフラの在り方検討などに着手してきました。「夢が持てるまち西条」の実現に向けては、昨年10月、石鎚クライミングパークSAIJOにスピード競技場を整備しました。11月には魅力的な観光地域の形成を進めるため、株式会社ソラヤマいしづちを設立しました。「つながり広がる西条」の実現に向けては、昨年4月にベトナム・フエ市と友好都市提携を締結しました。日本オーストラリア友好150周年となる新年度には、セーポードン市と友好都市提携を締結します。以上のような施策に取り組む中、本年1月には、株式会社宝島社の「2019年版 住みたい田舎ベストランキング」において、2部門で全国5位、四国エリアでは全5部門で1位となりました。これは、市民の皆さんと共に取り組んできた成果が少しずつ実を結び始めたことを証明するものです。この結果に満足することなく、今後も魅力度アップに努め、さらなる成果の獲得に努めます。

勝ち残るまちへ

世界に類を見ない「人口急減・超高齢社会」は、我が国がかつて経験したことのない試練であり、この試練を避けて通ることはできません。地方都市にとって「人財」は貴重な宝であり、経済活動や地域活動を安定化させ、「勝ち残り」のまちづくりを実現していくためには、多くの「人財」の力が欠かせません。

政策の節目となる新年度は、市政運営の全般において、将来人口をしっかりと見据え、可能な限り現状の市民サービスの維持に配慮しつつ、長期的展望に立った持続可能なまちづくりを進めていく必要があると考えています。新年度を陸上競技の三段跳びに例え、「未来への大きなジャンプに繋げるための力強いステップ」の1年と位置付けています。「未来への挑戦」をキャッチフレーズに、「勝ち残るまち」の実現に向けて邁進していきます。



予算編成方針・主要事業

新年度の予算編成については、前例踏襲主義を排し、事業の評価・検証を通じて優先付けの徹底と事業の厳選に努めました。

一方で、人口減少の克服や地域経済活性化に資する事業、市民サービスの向上や行政運営の効率化を実現する事業など、勝ち残る自治体となるために早急な取り組みが求められる事業については積極的に予算措置を行いました。

① 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり

わくわく健康ポイント事業に取り組むほか、市内行事で県内在住のお笑い芸人を活用するなど、「笑い」による心と体の健康づくりを推進します。

障がい者合同就職面接会で障がい者雇用を促進し、自立した日常生活を送れる環境づくりに努めます。

日中に家事・育児を援助するヘルパーを派遣するサービスを開始するほか、子育て応援サイト「ハピ♡すく」の機能を拡張します。

② 豊かな自然と共生するまちづくり

全ての上水道、簡易水道および専用水道の経営統合を進めるとともに、公共下水道事業特別会計の企業会計への移行を目指します。

① 健康づくりの推進

2020年東京オリンピックに向けてスポーツライミングの合宿誘致に取り組み、市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めます。



代表選手による当市での合宿

① 医療体制の充実

重度心身障がい者や中学生以下の子どもへの医療費助成を行うほか、ドナー側の骨髄採取に伴う入院などにかかる経済的負担の支援を開始します。



医療保障の充実を図ります

② 生活環境の整備

ひうちクリーンセンターを整備促進するとともに、老朽化が著しい道前クリーンセンターの長寿命化・整備の方向性の検討を進めます。



道前クリーンセンター

① 高齢者福祉の充実

コミュニケーションロボットを活用した見守り支援の充実を図るほか、スマートフォンを活用したゆるやかな見守り支援対象者を拡大します。



ロボットが見守りをサポート

② 水資源の保全

地下水を恒久的に保全していくために設立した西条市地下水保全協議会で、市民、事業者、行政が連携の下、今後の保全施策について協議します。



昨年11月に設立した協議会

③ 港湾・河川の整備

東予港複合一貫輸送ターミナルの整備を進めるとともに、大雨時の洪水対策としての河床掘削などを実施できるよう国や県へ働きかけます。



東予港複合一貫輸送ターミナル

③ 快適な都市基盤の
まちづくり

新たに実証運行を開始した丹原地域
予約制乗合タクシーについて、市民や
事業者と共に検証を行います。
地方再生コンパクトシティのモデル
都市として、喜多川朔日市線改良事業
御舟川水環境創造事業、市民緑地等整
備事業を実施します。

④ 災害に強く安全で安心して
暮らせるまちづくり

引き続き緊急点検の結果に基づき、
安全基準に満たない小中学校や市有施
設のブロック塀について、安全対策を
順次進めます。
はしご車のオーバーホールや老朽化
に伴う高規格救急自動車の更新、経年
劣化が著しい消防団員のヘルメット更
新などに取り組み、消防・救急救助体
制の充実および消防団を中核とした地
域防災力の強化を図ります。

⑤ 豊かな心を育む
教育文化のまちづくり

引き続き学校教育現場の環境改善に
取り組むほか、安全・安心な学校給食
を安定的に提供するため、運営検討委
員会を組織し、学校給食運営基本方針
の策定を目指します。

⑥ 活力あふれる
産業振興のまちづくり

総務省の地域力創造アドバイザー制
度を活用した農業次世代人材の育成に
引き続き取り組むほか、国営・県営の
ほ場整備事業の推進や、スマート農業
に取り組む農家を支援します。
企業立地奨励金の交付を通じ、立地
促進および留置に努め、県や新居浜市
と連携した技術展示会の開催などに取
り組めます。

えひめさんさん物語や7月にリニ
ーアルオープンする西条市アウトドア
オアシス石鎚などを契機とし、交流人
口の増加による観光サービス産業の拡
大に努めます。
移住促進について、引き続き移住体
験ツアーやメディアを活用したプロモ
ーションに注力します。

⑦ 構想の実現に向けて

地域課題解決のために必要な資金を
運用する市民主体の仕組みであるロー
カルファンドの創設を目指し、市民意
識を醸成する取り組みを推進します。
市税などのコンビニ収納の実施に向
けた準備を進めるほか、RPA（ロボ
ティック・プロセス・オートメーショ
ン）導入に着目し、業務スピードの向
上や業務ミスの削減などの生産性向上
に取り組めます。

3

公園・緑地の整備

市民の憩いや運動機能に加え
て、防災減災効果の充実を図
れるよう、東部公園と丹原中
央公園の整備を進めます。



5

学校教育の充実

平成29年度から整備している
小中学校・公立幼稚園の空調
設備について、来年6月に市
内全てで運用開始を目指し、
順次整備を進めます。



快適に学習できる環境へ

6

農業の振興

総合6次産業都市の実現へ、
愛媛大学やJA西条との産学
官連携体制の下、ICTを活
用した加工業務用野菜の産地
化に関する研究を推進します。



タマネギの収穫

6

水産業の振興

新規漁業就業者の創出とその
定着促進を目指すほか、西条
市水産振興対策協議会が新年
度から開始予定のノリの陸上
養殖研究事業を支援します。



新規就業者の支援を行います

6

観光産業の創出

(株)ソラヤマいしづちを中心に
地域の自然や文化伝統を活用
して観光振興につなげる取り
組みを展開し、いしづちブラ
ンドの確立に努めます。



西日本最高峰の石鎚山

7

地域コミュニティ
活動の促進

モデル地区を中心に公民館職
員を増員するなど、地域自治
の実現に向けた支援体制の充
実・強化を図ります。



地元住民による会議(橘地区)

4

防犯対策の推進

防犯灯のLED化への支援を
4年間重点的に行い、犯罪被
害の防止による安全で安心な
地域の実現を目指します。



LED器具を使用した防犯灯

5

歴史文化の保全・活用

「記録作成等の措置を講ずべ
き無形の民俗文化財」に選択
された石鎚黒茶の、歴史的背
景や流通に関する調査を行い
後世への継承を図ります。



地元団体による黒茶の製造

6

林業の振興

市有施設などへの積極的なC
LTの活用や、民間施設に対
する西条産材活用促進事業に
より、木材の地産地消に取り
組めます。



C L Tを含んだ木材

6

新規産業の創出

ローカル・ベンチャー誘致・
育成事業で、当市に移住した
起業家が安定的に事業活動に
取り組めるよう、引き続き支
援に努めます。



交流拠点の紺屋町dein

6

西条の価値や
魅力の向上

LOVE SAIJOファンクラブ
を通じた新たな西条ファンの
獲得、SNSを通じた情報発
信などを行います。



ファンクラブ会員2,000人突破

※施政方針の全文は市ホーム
ページに掲載しています。



西条市 市長の部屋

